

職場環境分析サービス「SAAGAS（サーガス）」の開発・提供開始について ～ストレスチェック結果を活用した集団分析の高度化～

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、企業・団体向けのストレスチェック集団分析において、新たなアルゴリズムを活用したサービス「SAAGAS（サーガス）※¹」（以下「当サービス」）を開発しました。当サービスについて、2024年中の提供開始に向けて、同年3月25日からご案内を開始します。

※¹ ストレスチェック結果を基に、高度な分析で職場環境を評価し、課題から施策まで簡便かつ効率的に“さがす”ことのできる新たな集団分析サービスの名称（Service for Advanced Assessment with Group Analysis for Stress check の略）

1. 背景

現代社会では、コミュニケーションの希薄化等、労働生活環境をはじめとした様々な要因によりこころの健康問題が重層化しており、個々人のみならず、社会組織においてもメンタルヘルスが重要なテーマとなっています。とりわけ企業・団体等においては、健康経営※²や人的資本経営の観点からも、こころに関する早期相談や不調への対応に対する関心が高まっています。

一方、勤労者50名以上の事業者にはストレスチェックが義務とされているものの、仕事に関する不安や悩みを感じる人の割合が高止まりするなど、現行のストレスチェックの集団分析においてこころの健康状態が十分に可視化されていないといった課題が指摘されています。

こうした中、当社では、勤労者や地域住民のこころの健康をデジタルツールで支える「デジタルメンタルヘルス」の技術開発を目的として、2022年6月より、ストレスチェック制度の設計に関わった川上 憲^{のり}と特任教授（東京大学大学院医学系研究科）との共同研究を進めています※³。

当該研究の一環として、ストレスチェックにおける16の調査尺度※⁴のうち4つの尺度に基づく健康リスクの評価にとどまっている「ストレス判定図」に着目し、職場環境要因とアウトカム指標（ワークエンゲージメント、生産性等）の相関分析を可能とする新たなアルゴリズムの開発に至りました。

※² 「健康経営※」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標

※³ 2022年6月1日付プレスリリース「東京大学とのメンタルヘルスに関する共同研究の開始 ～デジタルを活用したセルフモニタリングとメンタルケアの開発～」：<https://www.nissay.co.jp/news/2022/pdf/20220601a.pdf>

※⁴ ストレスチェックに用いる職業性ストレス簡易調査票の16尺度：
<ストレッサー> 「仕事の量」「仕事の質」「仕事の適性」「コントロール」「身体的負担」「技能の活用」
「対人関係」「働きがい」「職場環境」
<修飾要因> 「上司の支援」「同僚の支援」「家族の支援」
<ストレス反応> 「仕事の満足度」「生活の満足度」「心理的ストレス反応」「身体的ストレス反応」

2. 当サービスの概要

本アルゴリズムをコア技術として、手元のストレスチェック結果を活用し、人的資本経営でも求められる PDCA 取組を後押しします。当サービスでは、ストレスチェックデータを最大限活用し、企業・団体等の職場環境における実態把握から、課題の特定、施策の提示、評価・振り返りに至るまで幅広く支援し、勤労者のメンタルヘルスの改善・向上にお役立ていただけます。また、データアップロードからレポート出力まで Web 完結する「SAAGAS 専用 Web」によって、人事労務担当者の負荷軽減も期待されます。



<PDCA の内容>

Plan (計画)	<ul style="list-style-type: none">・ストレスチェックデータをアップロードし、「メンタルヘルス不調」「ワークエンゲージメント」「生産性」に関わる 8 つのアウトカム指標^{※5}を全国・業種平均比で評価・部署別・職種別等のさまざまな切り口で各指標に影響する職場環境要因まで特定し、改善方針を策定
Do (実行)	<ul style="list-style-type: none">・職場環境要因の改善に資する全国の取組事例を基に、効果が見込まれる具体取組を選定・実行
Check (評価) Action (改善)	<ul style="list-style-type: none">・継続的に毎年のストレスチェックデータを分析し、取組効果を振り返るとともに当年度の取組を選定・実行

※5 8 つのアウトカム指標：

「心理的ストレス反応」「高ストレス者」「うつ病の発症」「休職」「仕事の満足度」「ワークエンゲージメント」「プレゼンティーズム」「アブセンティーズム」

3. 今後の展開

当社は「ニッセイ健康増進コンサルティングサービス (Wellness-Star☆)」を通じ、保険者や企業における健康増進取組を分析から予防策の提供までトータルで支援しています。当サービスの提供によって、これまでの「身体」領域サービスに加えて「こころ」領域への対応もカバーすることで、健康長寿社会づくりに向けた一層の支援が可能となります。

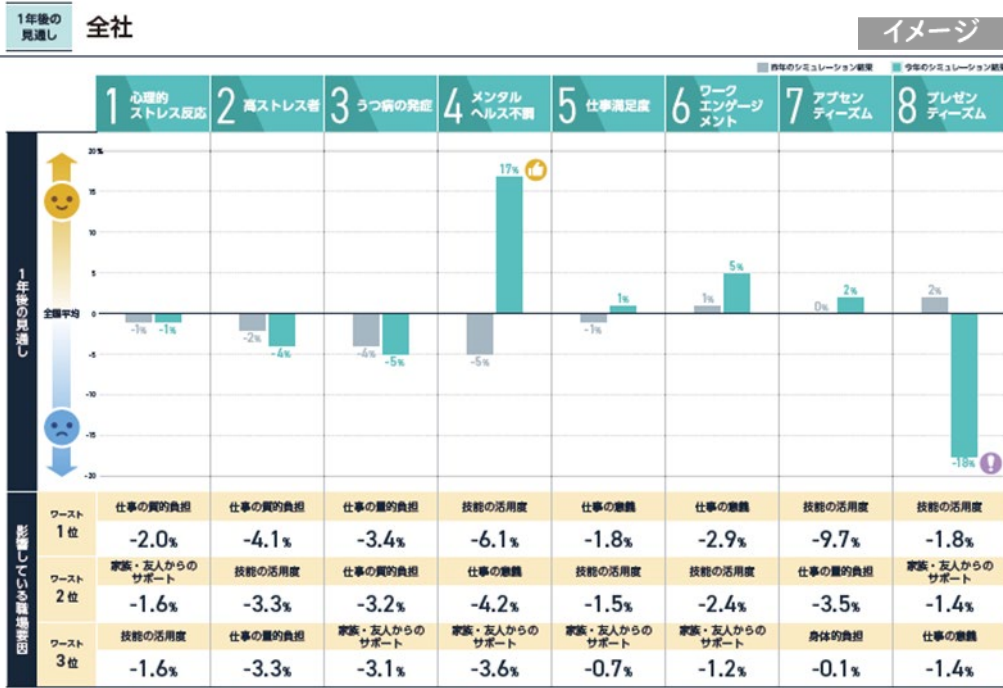
今後は、全国の企業・団体に対して当サービスを幅広くかつ迅速に提供するために、ストレスチェック等の人的資本経営サービスの提供事業者との連携を深めてまいります。また、東京大学をはじめとした学術機関との共同研究^{※6}を通じ、さらなる「こころ」領域のサービスの高度化に取り組み、職場や地域社会において一人ひとりがいきいきと働ける環境づくりやウェルビーイングの向上に貢献してまいります。

※6 2023 年 4 月 11 日付プレスリリース「地域でのメンタルヘルス・ワンストップ早期相談・支援に関する産学連携での取り組みについて」：<https://www.nissay.co.jp/news/2023/pdf/20230411.pdf>

(参考)「SAAGAS 専用 Web」のイメージ

1. 全社での評価（全国・業種平均との比較）＋職場環境要因の特定

8つのアウトカム指標について、全国・業種平均との比較による位置付けと、各指標に影響している要因を1つのレポートで把握できます。



*「全社」のみならず、「部署別、職種別、年齢別」等、さまざまな切り口での分析ができるため、より詳細な実態把握と改善方針の策定に活用いただけます。

2. 分析結果全体の俯瞰的な把握

部署別に一覧化することで、一目で課題部署が特定できます。

1年後の見直し	部門比較								イメージ
	1 心理的ストレス反応	2 高ストレス者	3 うつ病の発症	4 メンタルヘルス不調	5 仕事満足度	6 ワークエンゲージメント	7 アブセンティズム	8 プレゼンティズム	
全社	-4%	-8%	-5%	-11%	-2%	-1%	-14%	-2%	
A部	-43%	-22%	-36%	-39%	-17%	-20%	5%	-16%	
B部	-3%	-6%	-4%	-8%	+1%	+5%	-23%	0%	
C部	-12%	-22%	-21%	-30%	-7%	-6%	-7%	-7%	
D部	-3%	-6%	-5%	-11%	-2%	-1%	-9%	-2%	
E部	-1%	-2%	-6%	-1%	+1%	+6%	-6%	+2%	
F部	-1%	+5%	-5%	+14%	+3%	+6%	+17%	+5%	
G部	+34%	+45%	+39%	+79%	+29%	+52%	-7%	34%	
H部	+20%	+30%	+19%	+56%	+16%	+28%	+11%	+19%	
I部	-21%	-39%	-30%	-60%	-18%	-20%	+4%	-13%	
J部	-8%	-15%	-8%	-18%	-1%	+2%	-32%	-2%	
K部	-7%	-11%	-13%	-18%	-4%	-1%	-5%	-2%	

3. アウトカム改善に向けた具体取組の提示

全国の改善事例を基に、各職場環境要因に応じた具体取組が示され、現場の管理者によるアクションプラン策定にお役立ていただけます。

イメージ

6 ワークエンゲージメント

職場要因: 身体的負担, 仕事の意義, 仕事の量的負担

アクションリスト

No. 26	作業の標準化を行い、各自の役割を明確にする。	身体的負担 仕事の意義 仕事の量的負担
No. 42	業務を支援するためのシステムの見直しと改善を行う。	身体的負担 仕事の意義 仕事の量的負担
No. 43	設備やレイアウトなどの改善を行う。	身体的負担 仕事の意義 仕事の量的負担
No. 7	必要な情報が従業員に伝わるように、会議やコミュニケーション方法の工夫を行う。	身体的負担 仕事の意義 仕事の量的負担

以上

2023-4324G, 広報部